

# 町の考え方を問う

# 一般質問

9月定例会では、都市整備・環境問題など、町政全般へ5名12項目にわたり質問がありました。なお、質問者及び質問項目は、右の表のとおりです。

- 勝俣俊彦 (P8)
  - ・総合計画及び都市計画マスタープランについて
  - ・行政組織の見直しについて
- 川端祥介 (P9)
  - ・職員手当について
  - ・国際行事の誘致に対する町の取り組みについて
  - ・小中学校における経済・金融教育について
- 折橋尚道 (P9)
  - ・介護保険「主治医意見書作成用」問診票の採用と今後の取り扱いについて
- 山田和江 (P10)
  - ・安心して暮らせる高齢化対策について
  - ・子育てしやすい町づくりについて
  - ・自然と景観を守ることにについて
- 村野由紀子 (P10)
  - ・女性特有のがん検診受診事業について
  - ・新たな廃棄物対策について
  - ・さわやか行政サービスについて

※上記の表による各議員の質問事項のうち、1項目について質問内容と町長の答弁を要約して掲載しています。

## 企画 総合計画及び都市計画 マスタープランについて

**Q** 次の点について伺う。  
1 まちづくりの将来像はどのような考え方で定めたか。

- 2 想定人口1200人について
- 3 実施計画について
- 4 公共施設の統廃合について
- 5 仙石原地域のまちづくりについて

**A** 1点目について、平成19年度から28年度までの10年間で箱根町第5次総合計画として、

まちづくりアンケートや懇

2点目について、平成17年

1月1日を基準日とし、本年8月1日の人口と比較すると、約8%の減となり、少子高齢化の進展状況を含む出生・死亡に伴う「自然増減」や転入出といった「人口変動要因」に基づいて推計する方法を採用して算定した。また、次世代育成に向けた総合的な施策による人口定住対策や人口増加対策も推進している。

3点目について、前期基本計画に掲げた小中学校の統合をはじめとする重点施策事業について、限られた財源の中、施行することができず、優先度、重要度等を考慮し無理・無駄のない計画づくりをしていく。

4点目について、公共施設は収益が目的ではなく、町民の福祉向上の施設として設置・運営しているが、一部において、サービスの向上と効率的運営を目的として、民間委託等の導入を行い、経費の削減を図っている。また、公共施設配置研究会をおとして今後の諸施設のあり方や適正な管理等の検討をし

ていく。

5点目の仙石原地域のまちづくりに関する経緯、進捗状況、今後の進め方については、次のとおりである。

(1)町道仙20号線について

東京都港区の財産に関するため、容易には進まないが、町の財政状況を考えながら、計画を見直し、検討していく。

(2)県道75号線の仙石原交差点改良事業について

仙石原地域総合整備協議会の協力を得ながら進めてきたが、地権者の協力が得られない箇所があり、別案でも検討しているが、中断している状況である。着手からかなりの時間が経過しているため、早期に見通しがつくよう努力していきたい。

(3)すすき草原、湿生花園等の観光施設と中心市街地を結ぶ回遊性のある歩行者ネットワークを形成するための歩道整備について

県道75号線すすき草原付近の高原交差点までの延長200mの歩道整備は今年度中の完成を目指し、また、湿原側の土地はポラ美術館駐車場までが公有地となり、歩

道整備の計画が現実的になってきた。今後も国・県・仙石原地域総合整備協議会との調整をしながら、促進していきたい。

(4)火山学習センターの事業

経緯・進捗状況・今後の進め方について

旧大涌谷自然科学館を費用対効果が得られないことなどから廃止としたが、貴重な資源である生きている火山を生かした、調査研究、学習の場が必要との意見等から、平成17年度に(仮称)箱根火山学習センター基本構想を作成した。

その後、大涌谷の民間施設等の建替え計画の話が持ち上がっているため、景観的配慮や建設経費軽減のための複合施設、民間施設を借りての設置など、現在、さまざまな可能性について検討している。



すすき草原